



銀杏



【学校教育目標】自立に向けて ともに磨き合う児童の育成

田布施町立城南小学校

「笑顔のバトン」でつながった運動会

雲一つない快晴の空の下、真っ白い体操服に身を包んだ子どもたち。運動会本番では、走る、踊る、声を出す、心を一つにするなど、どの競技にも全力で臨みました。特に、最高学年である6年生のリーダーシップには、目を見張るものがありました。

本番まで、決して順風満帆だったわけではありません。赤白の応援団は、思うように練習が進まなくて悩むこともありました。急な気温の上昇で、体力がついていかない子どももいました。私たち教職員は、どのように指導や支援をしたらよいかと長時間、協議することもありました。常に気をつけてきたのは、「子どもの思いに寄り添うこと」、「ていねいな指導・支援を継続すること」です。まさに、みんなで作り上げた運動会。努力の成果が当日の子どもたちの「笑顔」に表れていたように思います。

また、当日駆けつけてくれた中学生ボランティアの皆さんは、子どもたちのサポートで大活躍してくれました。小学生から見ると憧れの存在です。

保護者の皆様、地域の皆様、温かいご声援と惜しみない拍手をありがとうございました。また、事前の環境整備や当日の後片付けなど、多大なるご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

以下に、運動会後のアンケートでいただいたご意見の一部をご紹介します。

- 子どもたちが積極的に参加していて、練習の時から自分たちで考え行動したのかなと思える姿が見え、良かったです。
- 徒競走を走り終えた低学年のみんなに、高学年の子たちが「いい走りだったね、頑張ったね」と声をかけていたところがとてもほっこりしました。
- 準備の段階から「みんなで運動会をつくりあげるんだ!」という想いを、先生、子どもたち、保護者からも感じました。
- 上学年の児童が一生懸命与えられた係を全うしていたのが印象的でした。特に6年生はとても頼もしい存在へと成長した姿が見られて嬉しかったです。
- 低学年のダンスの中に、頑張っていること、やっていることを披露する部分が、子どもたちが楽しそうでいいなと思いました。
- 上級生が下級生をまとめて導いていた姿が良かったです。先生方が、「さっきかっこよかったよ!」など個々の子どもたちに声をかけられている姿があり、言われた子どもは誇らしげにっていて、とても良いと思いました。



いくつかの改善点も含め、皆様からいただいた貴重なご意見を受け止め、子どもたちも教職員もより一層成長していけるよう、今後の教育活動に活かしてまいります。温かいメッセージを本当にありがとうございました。

校長 坂井 純子